

みなぶん NEWS!

みなぶん NEWS! とは・・・?

関内駅周辺では、大規模なまちづくりのプロジェクトがいくつも進んでおり、これから大きく変化を遂げようとしています。それに伴って、みなと大通り及び横浜文化体育館周辺道路（略してみなぶん）も再整備を予定しており、沿道のみなさまや利用者の方からのご意見を聴きながら、歩いて楽しい通りとしていくためのニュースという形で進行状況をお知らせしていきます。事業については右のQRコードより▶



みっけるみなぶん②活用実験（滞留スペースの設置）実施中!

開催場所：関内駅南口広場（横浜市中区港町1丁目）
実施期間：令和4年9月26日（月）～令和5年3月6日（月）

“みなぶん”では地域の回遊性を向上し、賑わいや魅力ある道路とするために、車道幅を狭めて歩道を広げるなどの再整備を予定しています。「みっけるみなぶん」では、将来道路でどんなことができたらいいか、そのためには何が必要かを皆さんと試し、議論、実験していきたいと考えています。

そのため、令和4年度は、関内駅南口の歩道空間にオリジナルの屋外家具を設置し、座って休むなどの滞留できるスペースを設けています。まちなかの空間で、居心地の良い場所や過ごし方をみつけてください。



ベンチや机として使える木製の屋外家具

01 みなぶんワークショップ2022

令和4年7月23日（土）「みなぶんをつなぐ広場にグッドプレイスを作ろう」YOXO BOXにて

今年度の実験に向け、関内駅南口の歩道空間をどのような場にしたら良いのか沿道の方々と模型を囲んでアイデアを出し合うワークショップを開催しました。



関内駅南口広場の模型を囲んで参加者同士で議論する様子



“日常的に高架下にベンチがあったらコーヒー片手にちょっと仕事したい・犬の散歩の途中で休憩に使ったりしたい・コーヒー屋を出店するイベントを実施したい”などの意見から屋外家具の設計、社会実験の企画を検討していきました。

02 みっけるみなぶん② 10月・12月にイベントを開催しました

「みっけるみなぶん②」として滞留スペースを設ける実験中の10月と12月に、関内駅南口の広場を活用してイベントを開催しました。当日はみなぶん沿道の事業者様による出店協力があり、隣接する横浜スタジアムでのイベントへの来場者も取り込むなど多くの方にご来場いただきました。歩道を拡幅した後のにぎやかな活用を具体的にイメージすることができました。

第1弾イベント「道路空間の使い方をみっける2日間」(写真1-4)

令和4年10月22日(土)、23日(日)/子どもから大人までランチを食べたり、音楽を楽しむスペースとなった。

第2弾イベント「夜の道路空間の使い方をみっける7日間」(写真5-6)

令和4年12月5日(月)~11日(日)/チケットブースやホットドリンクを飲めるスペースとして活用。



【参加者アンケートから】“普段から暗かった高架下の空間で飲食が楽しめる、駅前広場に楽器が楽しめたり参加できる場所があってよかった”など、休憩施設や賑わい創出としての評価は良いと感じた人が回答者の9割と好評をいただきました。一方で自転車が危ないなどの安全性などが課題と答えた方、継続的にこのようなイベントを続けることでマナー改善を求める声もありました。

03 【予告】みっけるみなぶん② 活用実験報告会を実施します!

日時：令和5年2月2日（木）14:00～15:00

会場：YOXO BOX（横浜市中区尾上町1丁目6 ICON 関内1階）

